

Mimaki **V10**

株式会社 ミマキエンジニアリング

2023年3月期 第1四半期

決算説明資料

2022年8月9日



証券コード
6638

JV330 Series



UJF-7151 plus II



TS100-1600



3DUJ-2207



2023年3月期 連結業績

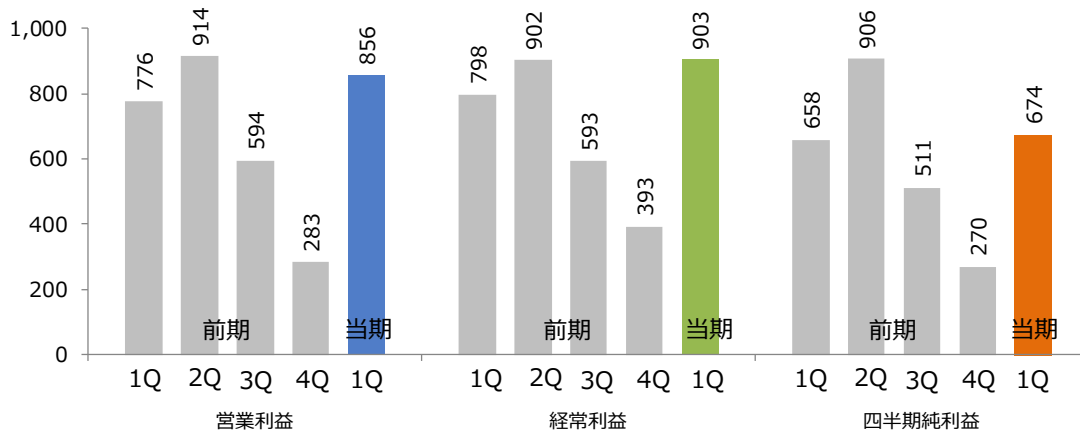
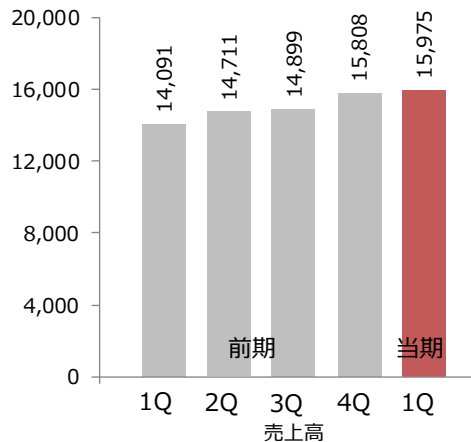
- ❖ 第1四半期実績
- ❖ 上期・通期予想

連結業績ハイライト (2023年3月期 1Q実績)



		2022年3月期	
		1Q実績	売上高 比率
(単位：百万円)			
■ 売上高		14,091	-
■ 営業利益		776	5.5%
■ 経常利益		798	5.7%
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益		658	4.7%
為替レート	米ドル	109.49円	-
(期中平均)	ユーロ	131.95円	-

		2023年3月期				
		1Q実績	売上高 比率	前年同期比増減		
金額	率			率 (除為替)		
		15,975	-	1,883	13.4%	5.7%
		856	5.4%	80	10.3%	-
		903	5.7%	104	13.1%	-
		674	4.2%	16	2.4%	-
		129.57円	-	20.08円	18.3%	-
		138.10円	-	6.15円	4.7%	-



連結業績のポイント (2023年3月期 1Q)



■ 1Q売上高

- 前年同期比 1,883百万円の増収(+13%、内為替影響 +1,081百万円)、予想比上振れ
- 全般に部材不足・輸送リードタイム長期化影響の継続に加え、欧州でのロシア・ウクライナ問題に伴う販売減少や、中国のロックダウンによる生産・販売へのマイナス影響はあったものの、前期から投入した新製品の売上寄与が本格化するとともに、既存製品は本体供給制約がある中でも概ね堅調に推移、インク及び保守部品の販売も順調に伸ばすなど、顧客の印刷・設備投資需要を着実に獲得
- 加えて、為替の円安によるプラス効果もあり、大幅な増収

■ 1Q営業利益

- 前年同期比 80百万円の増益(+10%、内為替影響 +264百万円)、予想比上振れ
- 部材・輸送コスト高やインフレ進行による全般的なコスト上昇に対応するための販売価格見直しを進め、売上原価率は為替の円安によるプラス効果もあり前年同期並、販管費は営業活動の活発化に伴い増加

■ 1Q末バランスシート

- 重点指標のCCC*は、輸送リードタイムの長期化影響と、販売機会損失回避のため部材不足に対応した在庫確保を進めた結果、前年同期比で増加

2021/6/末:4.22月/→9/末:4.35月→12/末:4.27月→2022/3/末:5.27月→2022/6/末:5.50月

*CCC : Cash Conversion Cycle

営業利益増減要因 (22/3期 1Q vs 23/3期 1Q)



【通貨別影響額】

USD / 109.49円 → 129.57円	+337
EUR / 131.95円 → 138.10円	+91
CNY / 16.96円 → 19.58円	△267
TRY / 13.04円 → 8.24円	△76
BRL / 20.71円 → 26.38円	+77
その他 (AUD、IDR等)	+102
合計	+264

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 1,081 - 売上原価 540 - 販管費 277 = 営業利益 264

【販管費増減の要因】

販促費	195
人件費	184
製品補修費	△75
旅費交通費	65
貸倒引当金	△22
研究開発費	18
その他	31
合計	395

(単位：百万円)

①為替影響

②売上高増減影響

③売上原価率
増減影響

④販管費増減影響

264

330

△119

△395

776

営業利益
(22/3期)

売上原価率

58.8%

↓

59.6%
(+0.8pt)

販管费率

35.7%

↓

36.4%
(+0.7pt)

856

営業利益
(23/3期)

営業利益 80百万円

市場別売上高 (2023年3月期 1Q実績)



(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期				
	1Q実績	構成比率	1Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率 (除為替)	
■ S G 市場 向け	6,144	43.6%	6,640	496	8.1%	△0.6%	41.6%
■ I P 市場 向け	3,696	26.2%	4,556	859	23.3%	15.2%	28.5%
■ T A 市場 向け	1,360	9.7%	1,566	206	15.2%	5.2%	9.8%
■ F A 事 業	940	6.7%	828	△ 111	△11.9%	△11.9%	5.2%
■ そ の 他	1,950	13.8%	2,383	432	22.2%	-	14.9%
合 計	14,091	100.0%	15,975	1,883	13.4%	5.7%	100.0%

- SG市場向け: 本体は供給制約や中国・ロシアのマイナス影響があったが、エントリーモデルJV/UJV100が販売増、フラグシップモデル新製品JV/CJV330の出荷開始、インク販売も好調に推移、為替効果もあり増収
- IP市場向け : 本体はラインアップを更新したUJF-3042/6042Mk II eとUJF-7151plus II が大幅に伸長、大型FB機も既存のJFX200に加え新製品のJFX600も販売が増加、インクも好調に推移し、大幅増収
- TA市場向け : 本体はエントリーモデルTS100が中南米やアジア・オセアニアを中心に大幅に販売を伸ばし、既存のTS55も好調に推移、インクの販売も大幅に増加し、増収
- FA事業 : 受注は順調に伸びたが、基板検査・実装装置等が部材不足影響で生産・販売が遅れ、大幅減収

エリア別売上高 (2023年3月期 1Q実績)



(単位：百万円)	2022年3月期			2023年3月期			
	1Q実績	構成比率	1Q実績	前年同期比増減		構成比率	
				金額	率		
■ 日本	3,586	25.4%	4,164	578	16.1%	26.1%	
■ 北米 (現地通貨 / \$)	2,689	19.1%	3,431	742	27.6%	21.5%	
	24.5M	-	26.4M	1.9M	7.8%	-	
■ 欧州 (現地通貨 / €)	4,257	30.2%	4,300	43	1.0%	26.9%	
	32.2M	-	31.1M	△ 1.1M	△ 3.5%	-	
■ アジア・オセアニア	2,444	17.3%	2,618	174	7.1%	16.4%	
■ その他	1,115	7.9%	1,459	344	30.9%	9.1%	
合計	14,091	100.0%	15,975	1,883	13.4%	100.0%	

- 日本: 経済活動の緩やかな持ち直しの動きを受け、IPが新製品を中心に本体・インク共に好調に推移、SG、TAも顧客の稼働増に伴いインクが伸長した結果、大幅な増収
- 北米: 急激なインフレ進行による影響が徐々に顕在化しているものの、SG、IP、TAが本体・インクともに堅調に推移、為替の円安効果もあり、大幅な増収
- 欧州: 為替のプラス影響はあったもののロシア・ウクライナ向けのマイナス影響を受け、前年同期並。一方、ロシア・ウクライナ影響を除く欧州は、国により濃淡あるものの、SG、IPが堅調に販売を伸ばし、全般にインク販売も好調
- A・O: 中国でロックダウン影響を大きく受けた一方、タイ、インドネシア、インド等で販売が大幅に伸び、全体では増収

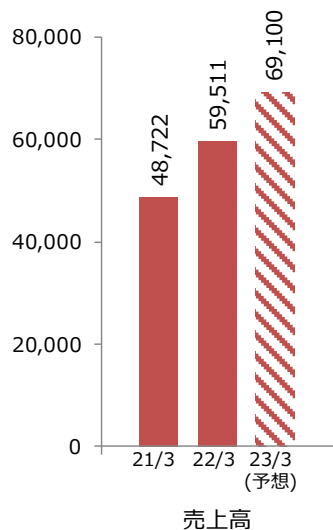
2023年3月期 連結業績

- ❖ 第1四半期実績
- ❖ 上期・通期予想

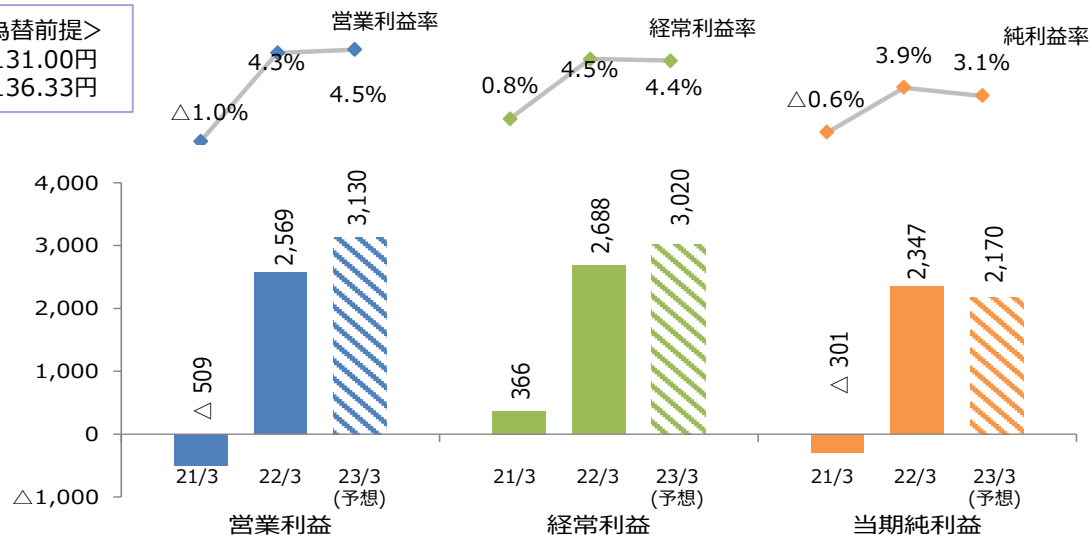
連結業績予想ハイライト (2023年3月期)



(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期									
	通期実績	売上高 比率	上期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	下期予想	前回予想比 増減金額	通期予想 (修正)	売上高 比率	前回予想比 増減金額	前期比増減		
										金額	率	率(除為替)
■ 売上高	59,511	-	34,200	3,500	34,900	0	69,100	-	3,500	9,588	16.1%	12.8%
■ 営業利益	2,569	4.3%	1,570	800	1,560	0	3,130	4.5%	800	560	21.8%	-
■ 経常利益	2,688	4.5%	1,540	840	1,480	0	3,020	4.4%	840	331	12.3%	-
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	2,347	3.9%	1,160	730	1,010	0	2,170	3.1%	730	△ 177	△ 7.6%	-
為替レート	米ドル	112.38円	130.29円	20.29円	110.00円	0.00円	120.14円	-	10.14円	7.76円	6.9%	-
(期中平均)	ユーロ	130.56円	137.22円	7.22円	130.00円	0.00円	133.61円	-	3.61円	3.05円	2.3%	-



<2Q為替前提>
 USD 131.00円
 EUR 136.33円



連結業績予想のポイント (2023年3月期)



- 1Q実績及び2Q予測(為替前提を含む)を踏まえ、上期業績予想を上方修正
 - ① 2Qも、引き続き各国で新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進み、印刷需要と設備投資の伸びに伴い、産業用インクジェットプリンタへの需要は堅調な推移を想定
 - ② 2Qの為替前提は、USD:110.00円→131.00円、EUR:130.00円→136.33円に修正
- 一方、下期は多くの不透明要因(為替前提を含む)があり、現時点では予測が困難なことから、継続して精査することとし、下期業績予想は据え置き
 - ① 堅調な需要に加え、前期に投入した新製品効果等により、販売拡大のトレンドは続くものと思われる
 - ② 部材等のコスト上昇に対応した価格転嫁は進めるものの、原価率悪化及び部材調達難に伴う販売機会損失等の影響は、下期も一定程度継続することが想定される
 - ③ ロシア・ウクライナ問題に端を発した世界的な物価・インフレの高止まり、各国当局の金融引き締めに伴う経済活動の減速リスク等、予断を許さない状況が継続するものと思われる
 - ④ 下期の為替も見通しが不透明なため、期初前提のUSD:110.00円、EUR:130.00円は変更しない
- 「Mimaki V10」で定めた2025年度までに営業利益率10%達成の目標は堅持するものの、リスクへの対応に万全を期すと共に、経営の土台固めに向け、引き続き全社をあげて取り組む

営業利益増減要因

(22/3期 実績 vs 23/3期 予想)



(単位：百万円)

【通貨別影響額】

USD / 112.38円 → 120.14円	+630
EUR / 130.56円 → 133.61円	+241
CNY / 17.51円 → 19.04円	△354
TRY / 11.23円 → 8.22円	△220
BRL / 21.11円 → 22.99円	+118
その他 (AUD、IDR等)	+173
合計	+587

<為替感応度 (1円/年)>

	売上高	営業利益
USD	147	81
EUR	125	79

【売上原価率増減の要因】

主に部品・原材料、輸送費高騰の影響を見込む

【売上・原価・営業利益への為替影響】

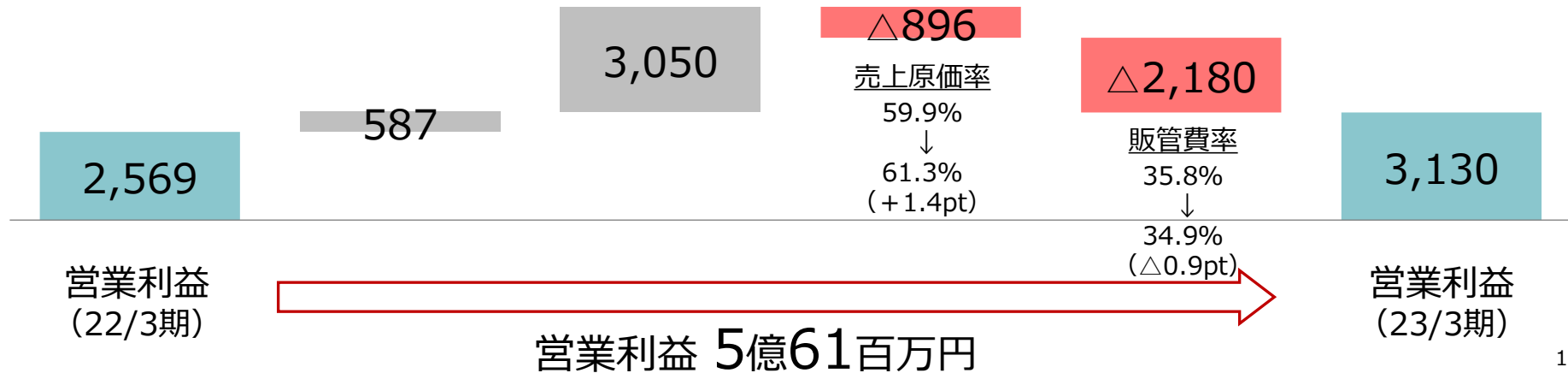
売上高1,974 - 売上原価916 - 販管費469 = 営業利益587

① 為替影響

② 売上高増減影響

③ 売上原価率増減影響

④ 販管費増減影響

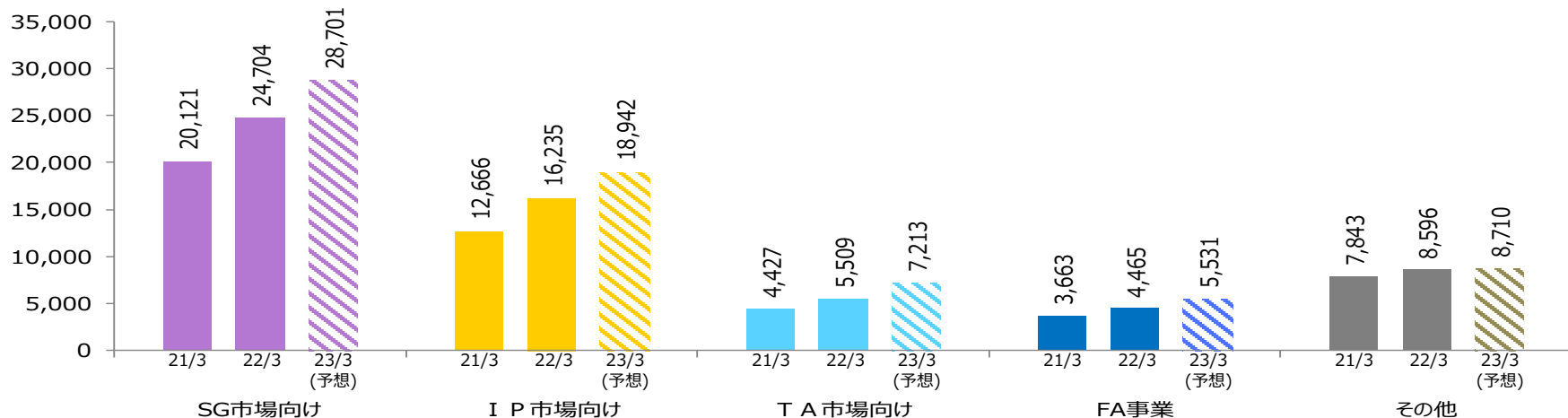


営業利益 5億61百万円

市場別売上高予想 (2023年3月期)



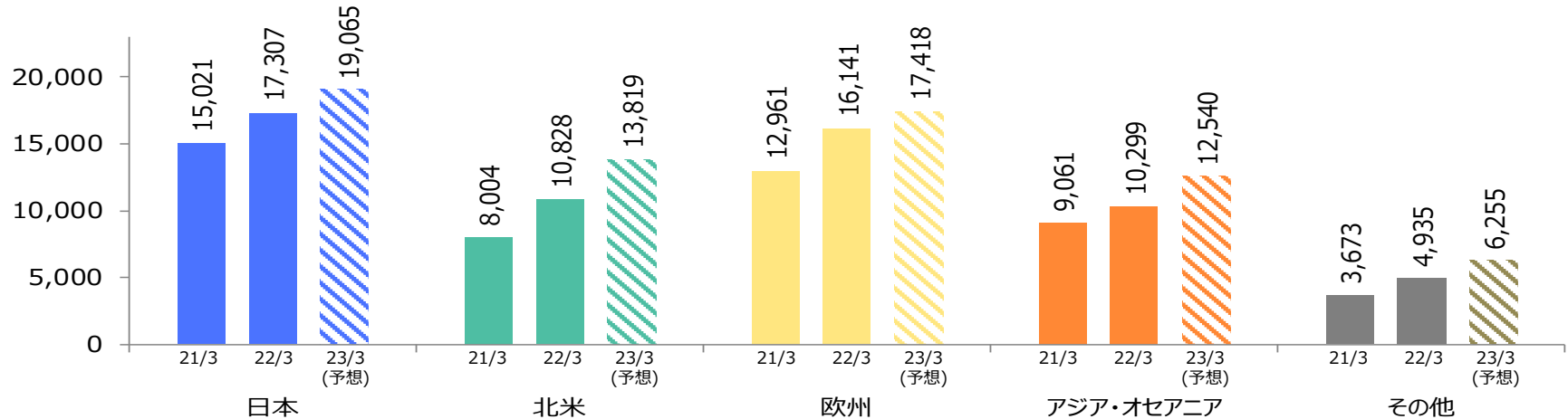
(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期									
	通期実績	構成比率	上期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	下期予想	前回予想比 増減金額	通期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	前期比増減			構成比率
									金額	率	率(除為替)	
SG市場向け	24,704	41.5%	14,006	1,330	14,694	0	28,701	1,330	3,997	16.2%	12.2%	41.5%
IP市場向け	16,235	27.3%	9,629	1,077	9,313	0	18,942	1,077	2,706	16.7%	13.4%	27.4%
TA市場向け	5,509	9.3%	3,399	374	3,814	0	7,213	374	1,704	30.9%	25.9%	10.4%
FA事業	4,465	7.5%	2,415	28	3,116	0	5,531	28	1,065	23.9%	23.8%	8.0%
その他	8,596	14.4%	4,749	688	3,961	0	8,710	688	113	1.3%	-	12.6%
合計	59,511	100.0%	34,200	3,500	34,900	0	69,100	3,500	9,588	16.1%	12.8%	100.0%



エリア別売上高予想 (2023年3月期)



(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期								
	通期実績	構成比率	上期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	下期予想	前回予想比 増減金額	通期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	前期比増減		構成比率
									金額	率	
■ 日本	17,307	29.1%	9,245	418	9,819	0	19,065	418	1,758	10.2%	27.6%
■ 北米 (現地通貨/\$)	10,828 96.3M	18.2%	7,384 56.6M	1,446 2.7M	6,435 58.5M	0 0.0M	13,819 115.1M	1,446 2.7M	2,991 18.8M	27.6%	20.0%
■ 欧州 (現地通貨/€)	16,141 123.6M	27.1%	8,493 61.8M	1,137 5.3M	8,925 68.6M	0 0.0M	17,418 130.5M	1,137 5.3M	1,277 6.9M	7.9%	25.2%
■ アジア・オセアニア	10,299	17.3%	6,016	534	6,524	0	12,540	534	2,241	21.8%	18.1%
■ その他	4,935	8.3%	3,059	△ 36	3,195	0	6,255	△ 36	1,319	26.7%	9.1%
合計	59,511	100.0%	34,200	3,499	34,900	0	69,100	3,500	9,588	16.1%	100.0%

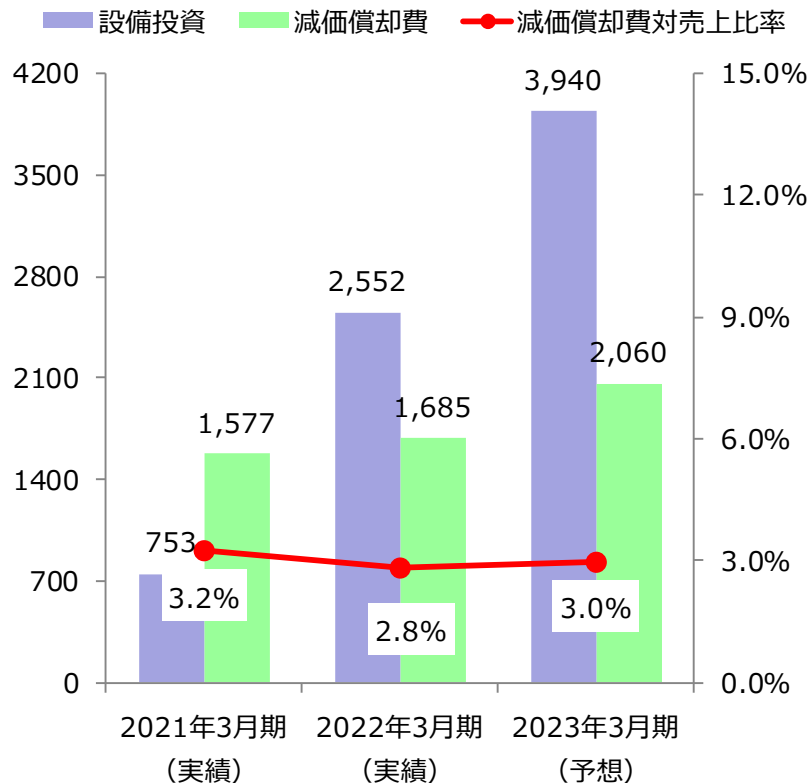


設備投資、減価償却、開発投資予想

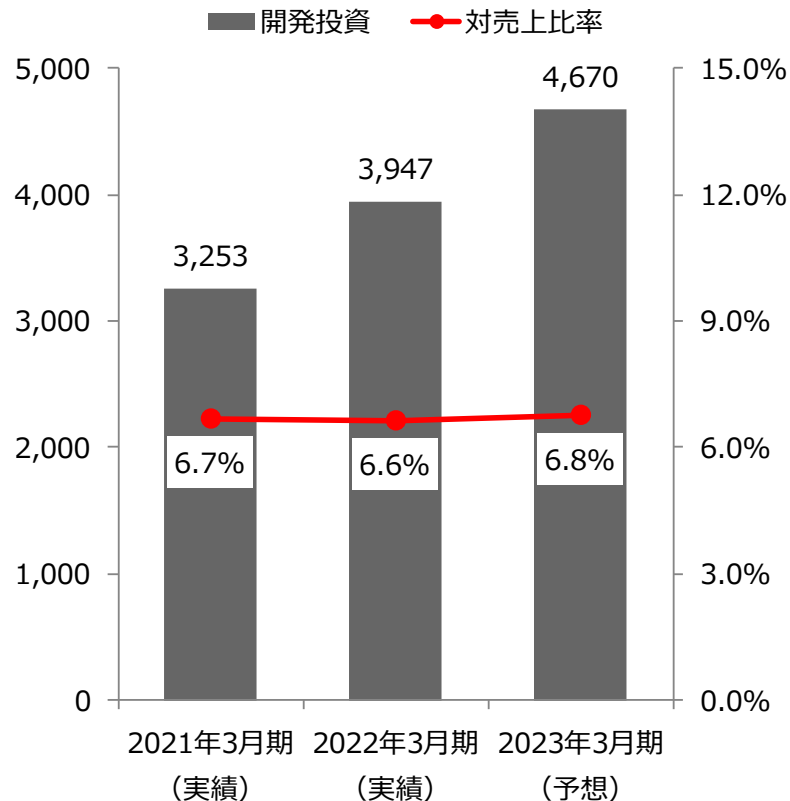
(2023年3月期)



(百万円)



(百万円)



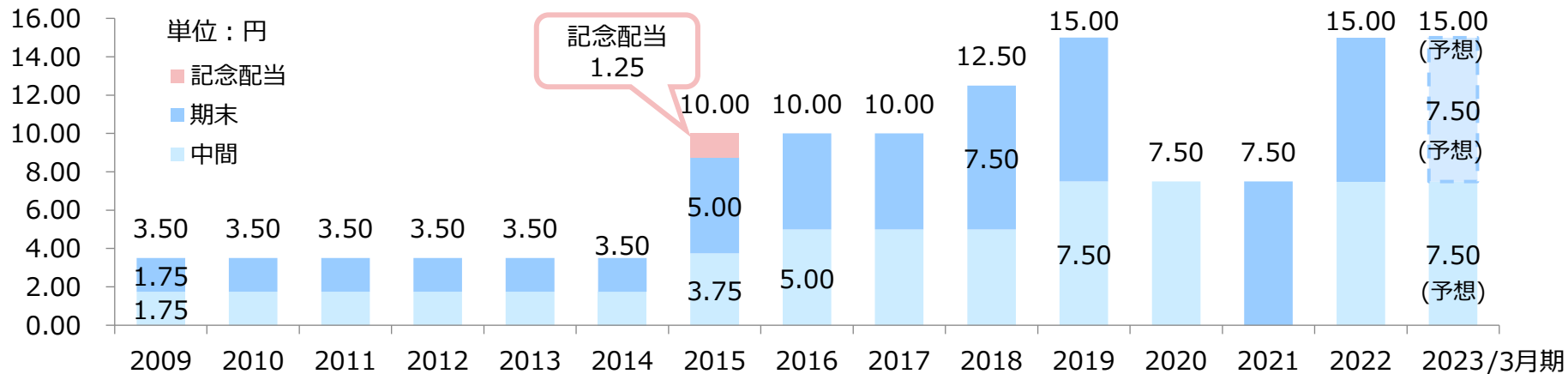
※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

- 2022年3月期(実績) 中間：7.5円、 期末：7.5円
業績の回復状況及び安定的・継続的な株主還元方針に基づき、年15.0円を配当
- 2023年3月期(予想) 中間：7.5円、 期末：7.5円
当期の事業見通し及び安定的・継続的な株主還元方針を総合的に勘案し、年15.0円配当を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は訴求修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。